

公益社団法人くまもと被害者支援センター
平成21年度事業報告
(平成21年12月1日～平成22年3月31日)

第1 相談事業

1 電話相談・面接相談

相談者のプライバシー等を保護するために、電話相談のブース（2室）及び面接相談室において、事務局職員及び被害者支援ボランティアが、被害者及びその遺族又は家族（以下「被害者等」という。）から相談を受理するとともに、被害者等に対する各種情報の提供等を行った。

相談専用電話 096-386-1033

相談受付時間 月曜～金曜（平日）10:00～16:00

相談件数 156件（相談内容等は別紙のとおり）

2 専門相談

(1) 心理相談

電話・面接相談の結果、カウンセリング等の専門的な相談等が必要な相談者に対しては、センターに登録された臨床心理士により、面接等の方法で相談を実施し、被害者等の精神的な被害回復と軽減のための支援活動を行った。

定例心理相談（毎月2回（第1月曜・第3月曜）13:00～16:00）のほか、臨時の心理相談を行った。

相談件数 3件

(2) 法律相談

電話・面接相談の結果、法律専門家による相談が必要と認められる相談者に対しては、センターに登録された弁護士による面接を実施し、被害者等への法的な支援活動を行った。

定例法律相談（毎月1回（第2水曜）13:00～16:00）のほか、臨時の法律相談を行った。

相談件数 10件

第2 直接的支援事業

1 危機介入

犯罪被害発生直後から支援が必要と認められる被害者等に対し、警察や被害者等の要請に基づき、現場、病院、被害者宅等で必要な情報の提供、相談、生活支援等の応急の支援活動を行った。

警察提供情報受理件数 1件

警察提供情報に基づく直接的支援件数 18件（内訳は下記2記載のとおり）

2 付き添い等支援

被害者等に対する警察官・検察官の事情聴取あるいは証人出廷や病院への通院等の際、

被害者等の精神的負担の軽減を図るため、被害者等の要望に応じて付添や裁判の代理傍聴、自宅訪問等の支援活動を行った。

警察関連支援	2 件 (件)
裁判関連支援	29 件 (9件)
検察庁関連支援	14 件 (6件)
行政窓口等への付添	2 件 (件)
自宅訪問	2 件 (2件)
物品の供与・貸与	1 件 (1件)
合 計	50 件 (18件)

注) () 内は、警察提供情報受理事案の件数

3 物品の供与

被害者等からの要請に基づき、被害者等の不安を除去するため、防犯ブザーの供与を行った。

供与件数 1 件

第3 各種手続の補助事業

被害者等からの要請を受け、次のとおり犯罪被害者支援に係る新しい制度等について教示、付き添い等の支援を実施した。

- 更生保護における犯罪被害者等のための意見聴取制度について教示するとともに、申出の手続きを補助した
- 被害者遺族に法テラス制度及び被害者参加のための国選弁護士制度について教示するとともに、選任弁護士事務所に付き添い支援した。
- 被害児童の保護者に法テラス制度及び日弁連委託援助制度について教示するとともに、同制度申し込みのため弁護士事務所に付き添い支援した。

第4 自助グループの育成・支援事業

1 自助グループの育成

被害者等の了承を得たうえで、同じような被害に遭われた方やその遺族を紹介するなど被害者等同士で語り合える自助グループ「さくらの会」の育成を図った。期間中、12家族の被害者御遺族が次のとおり定例会を開催した。

定例会 毎月1回第2火曜日 13:30~15:30 テルサ研修室

2 自助グループの支援

被害者等が社会に発言できる機会をコーディネートし、被害者等への後方支援を行った。

- 日本司法書士会連合会市民公開シンポジウムにおける基調報告
日 時 平成22年2月11日(木)
場 所 くまもと県民交流館パレア「パレアホール」
報告者 センター長 浦野 エイミ
犯罪被害者遺族 米村 州弘 氏

第5 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

1 警察等との連絡及び情報提供

直接問い合わせることをためらう被害者等に代わって、相談・支援各担当責任者が警察や検察庁、裁判所等から支障のない範囲で必要な情報を得て被害者等に提供した。

2 各種会合への参加

熊本県犯罪被害者支援連絡協議会（事務局：県警察本部犯罪被害者支援室）はじめ次のとおり各種会合等に出席し、センターの活動状況を紹介するとともに、被害者支援の各種情報の交換や相互協力を行った。

- 管区別犯罪被害給付事務担当国会議（九州管区）出席
日 時 平成21年12月15日（火）
場 所 熊本県警察本部会議室
- 熊本県犯罪被害者等支援県・市町村連絡会議出席
日 時 平成22年2月10日（水）
場 所 熊本テルサ
- 日本司法書士会連合会市民公開シンポジウム パネルディスカッション「支えあう社会と司法の役割を考える」参加
日 時 平成22年2月11日（木）
場 所 くまもと県民交流館パレア「パレアホール」
パネリスト センター長 浦野 エイミ
犯罪被害者遺族 米村 州弘 氏
- 地区犯罪被害者支援連絡協議会総会出席
平成22年2月23日 水俣地区 水俣警察署
平成22年3月 8日 玉名地区 玉名警察署
- 熊本県犯罪被害者支援連絡協議会総会及び幹事会出席
日 時 平成22年2月26日（金）
場 所 熊本県警察本部会議室
- 熊本地方検察庁連絡会議
日 時 平成22年3月18日（木）
場 所 熊本地方検察庁 大会議室
- 熊本県地域医療観察制度運営連絡協議会出席
日 時 平成22年3月30日（火）
場 所 熊本第2合同庁舎会議室

3 各種研修会等への講師派遣

犯罪被害者の現状とセンターで行っている被害者支援業務を出来るだけ多くの方に理解していただくために積極的に講師の派遣を行った。

- 天草保護司会第5期定例研修会における講演
日 時 平成22年1月19日（火）
場 所 天草信用金庫会議室

- 熊本県人権同和政策課職員研修「犯罪被害者等の人権問題」に講師派遣
日 時 平成22年1月28日（木）
場 所 熊本県人権センター

- 人吉球磨民生委員・児童委員研修会におけるコーディネーター派遣
日 時 平成22年2月19日（金）
場 所 人吉カルチャーパレス会議室

- 熊本刑務所受刑者に対する講話
日 時 平成22年3月12日（金）
場 所 熊本刑務所教育指導室

第6 被害者等の実態等に関する調査及び研究事業

1 先進的組織等の調査及び研究

国内での被害者支援活動の先進的組織（被害者支援都民センター、大阪被害者支援アドボカシーセンター等）と情報交換し、先進的な被害者支援活動について調査及び研究を行った。

また、九州における犯罪被害者直接支援員・犯罪被害相談員の運用実態について調査及び研究を行った。

2 刊行物による情報収集

被害者等の実態等に関する情報を新聞、雑誌等の刊行物から収集し、資料化した。

第7 相談員・被害者支援ボランティアの養成及び研修事業

1 被害者支援ボランティアの養成（養成講座）

被害者支援ボランティアとして活動を希望する人に対し、犯罪被害者支援の意義・必要性、被害者の実態等の基礎的な研修を実施した。

- 日 時 平成21年8月20日（木）～平成21年12月17日（木）（全10回のうち期間中2回）
- 場 所 熊本テルサ研修室等
- 修了者 19人

カリキュラム

12月10日(木)	①民間団体による被害者支援 ②支援に携わる者の留意点	センター職員
12月17日(木)	①支援活動員からの報告 ②オリエンテーション	センター職員

2 直接支援員等の継続研修（直接支援員初級研修）

- (1) 登録ボランティアに対して、電話相談員・直接支援員として支援活動に必要な専門的知識、技能の習得のため、被害者支援の制度や被害者等の心理、支援の実際等の研修を実施した。

日 時 平成21年5月29日(金)～平成22年3月11日(木) (全13回のうち期間中3回)

場 所 熊本テルサ研修室等

修了者 15人

カリキュラム

12月9日(水)	①犯罪被害者への治療について ②支援者のストレスとサポート	精神科医 仁木 啓介 氏
1月14日(木)	①弁護士による被害者支援 ②被害者参加制度と損害賠償命令申立制度	弁護士 林 誠 氏
3月11日(木)	①被害者支援の倫理 ②直接支援における留意点	センター長 浦野 エイミ

- (2) 電話・面接相談、直接的支援等の活動内容別の実地研修を実施した。

3 全国被害者支援ネットワーク主催の九州・沖縄ブロック研修会に参加

直接支援員初級修了者で一定の実務経験者を有する者に、直接支援員のリーダーや犯罪被害相談員に必要な専門的知識、技能を習得させるため、カウンセリング技術や支援者の育成技術を学ぶ中級研修に参加した。

日 時 平成22年2月13日(土)～14日(日)

場 所 (社)宮崎犯罪被害者支援センター 研修室(宮崎市)

参加者 直接支援員2人 事務局員1人

4 全国被害者支援ネットワーク主催の研修会に参加

直接支援員中級修了者で一定の実務経験者を有する者に対し、高度の支援プランの作成、組織管理等を行うコーディネーター研修に参加した。

日 時 平成22年2月1日(月)～5日(火)

場 所 東京都中央区日本橋茅場町TKP東京ビジネスセンター

参加者 前期1人(犯罪被害相談員)、中期1人(センター職員)

5 直接支援員の臨時(自主)研修の実施

直接支援員のスキルアップ及び意思疎通を図り、被疑者等の支援に関する多様なニーズに応えるため「少年審判の流れ」「自助グループについて」などについて次のとおり研修を行った。

実施日 平成21年12月22日(火)・平成22年1月19日(火)

場 所 被害者支援センター研修室

参加者 直接支援員10人

第8 広報・啓発事業

1 リーフレット等の作成・配布

「公益社団法人」認定に伴い、次のとおり、リーフレット等を作成・配布し、広く県民にセンターの活動状況等について周知を図るとともに被害者支援の広報・啓発活動を行った。

- 被害者用リーフレット 5,000部
- 支援者用リーフレット 1,000部
- ミニのぼり 100本
- ポスター 2,000枚

2 機関誌の作成・配布

センターの活動状況等をまとめた機関誌、犯罪被害者や遺族の思いをつづった手記集、及び犯罪被害者週間のキャンペーン事業報告書を次のとおり作成し、関係機関や会員等へ配布して、広く県民にセンターの活動状況等について周知を図るとともに被害者支援に関する広報・啓発を行った。

- 機関誌「センターニュース」14号 5,000部
- 犯罪被害者手記集 1,000部
- 犯罪被害者週間キャンペーン事業報告書 2,000部

3 広報・啓発ビデオの活用

犯罪被害者支援の必要性及び本センターの活動内容を紹介した広報・啓発ビデオを広く県民に視聴いただき、センターの周知と被害者支援の必要性について広報・啓発を行った。

4 広報媒体への広告の掲載

関係機関・団体が発行する広報媒体へのセンターに関する広告の掲載を依頼した。

- 公益社団法人認定に伴う新聞広告12月1日付け熊日朝刊

5 ホームページによる広報事業

センターの活動内容等を紹介したホームページを随時更新し、センターの広報と相談窓口の周知に努めた。

アドレス <http://www.k-v-support.jp> (携帯電話からもアクセス可能)

6 各種会合等への参加

県下23警察署の管内で結成されている被害者支援連絡協議会への出席、熊本県犯罪被害者等支援県・市町村連絡会議及び人吉球磨民生委員・児童委員研修会等への講師派遣を通じ、犯罪被害者等に対する支援の必要性について広報啓発を行った。

第9 その他の事業

□平成21年度第2回臨時理事会・臨時総会開催

日 時 平成22年1月26日（火）

場 所 熊本テルサ

審議事項 平成21年度決算報告（4月～11月）（案）について
監査報告

□平成21年度第2回理事会開催

日 時 平成22年3月31日（水）

場 所 熊本テルサ

審議事項 平成21年度補正予算（案）について
平成22年度事業計画（案）について
平成22年度収支予算（損益ベース）（案）について
諸規程の一部改正（案）について
事務局長の任免（案）について

<相談関係>

表1

	取 扱 件 数	手 段					計	
		電 話	電 子 メ ー ル	手 紙	面 接 相 談	そ の 他		
身 体 犯	殺人(傷害致死)	1	25	0	0	2	0	27
	強盗(致死傷)	0	0	0	0	0	0	0
	強姦	6	34	0	0	5	0	39
	強制わいせつ	4	18	1	0	4	0	23
	その他の性被害	0	0	0	0	0	0	0
	暴行・傷害	5	12	0	0	3	0	15
	その他の身体犯	0	0	0	0	0	0	0
	計	46	129	6	0	21	0	156
交 通	危険運転致死傷	0	0	0	0	0	0	0
	交通死亡事故	1	5	0	0	0	0	5
	交通事故	2	2	0	0	0	0	2
財産的被害		3	2	0	0	1	0	3
DV		1	2	0	0	0	0	2
ストーカー		1	0	0	0	1	0	1
虐待		0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	死別・自殺	0	0	0	0	0	0	0
	災害被害	0	0	0	0	0	0	0
	その他	22	29	5	0	5	0	39
計		46	129	6	0	21	0	156

件

表2

相談者類型(被害者との関係)									
本 人	夫 妻	父 親	母 親	親 族	子 供	知 人 ・ 友 人	そ の 他	計	
0	0	1	3	13	2	0	0	8	27
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	12	6	0	0	0	7	39
5	0	0	0	15	0	0	0	3	23
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	2	0	1	1	0	0	2	15
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	3	0	1	0	0	5
1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	0	0	1	1	0	1	0	1	39
66	0	5	16	40	3	3	0	23	156

人

表3

対応(処理)結果								男女別		
相 談 の み	他 機 関 引 継 ぎ	他 機 関 紹 介	法 律 相 談	カ ウン セ リ ン グ	直 接 的 支 援	そ の 他	計	男	女	計
18	0	1	1	0	11	8	39	11	16	27
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	0	1	3	2	9	5	53	14	25	39
20	0	0	3	0	15	3	41	3	20	23
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	2	0	2	1	19	8	7	15
0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	5	1	4	5
1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	2
1	0	2	0	0	0	0	3	1	2	3
0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2
1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	13	1	1	10	1	51	9	30	39
118	0	18	10	3	50	20	219	50	106	156

件

人

<直接的支援関係>

表4

		警 察 関 連 支 援	裁 判 関 連 支 援	検 察 庁 関 連 支 援	行 政 窓 口 等 へ の 付 き 添 い	病 院 付 き 添 い	自 宅 訪 問	物 品 の 供 与 ・ 貸 与	生 活 支 援	宿 泊 施 設 提 供	そ の 他	計	自 助 グ ル ー プ 開 催
身 体 犯	殺人(傷害致死)	0	2	5	2	0	2	0	0	0	0	11	
	強盗(致死傷)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	強姦	0	7	1	0	0	0	1	0	0	0	9	
	強制わいせつ	2	12	1	0	0	0	0	0	0	0	15	
	その他の性被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	暴行・傷害	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	その他の身体犯	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
交 通	危険運転致死傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交通死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
財産的被害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DV		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ストーカー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
虐待		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	死別・自殺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	災害被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	10	
計		2	29	14	2	0	2	1	0	0	0	50	4

件 件

<その他の活動関係>

表5

広 報 啓 発 活 動	申 請 補 助	計
12	0	12

件

<相談の端緒>

表6

マ ス メ デ ィ ア	H P	書 籍	リ ー フ レ ッ ト	警 察 教 示	警 察 提 供	他 機 関 か ら の 紹 介	そ の 他	不 明	計
1	12	3	5	3	1	11	1	9	46

件

第1号に関する事業:表5 広報啓発活動

第2号に関する事業:表1～表3 相談事業

第3号に関する事業:表5 申請補助

第4号に関する事業:表4 直接的支援事業